

地域に寄り添い、街とともに考える、コミュニケーション誌

JFM だより

Vol. 44

December
2022

北海道
室蘭市

設備の整った、 地域に愛される食の要所



INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 地域のためにがんばる公営競技
- 07 利用してみよう! 地方支援業務
- 11 みんな気になる、お金のこと
- 13 わたしのシゴト わたしのジモト
- 13 機構からのお知らせ
- 15 私たちもJFM債買っています!!
- 15 編集後記

JFMの貸付事業

JFMでは、長期かつ低利な資金を地方公共団体に融資することで、地方公共団体の財政の健全な運営及び住民福祉の増進に貢献しています。

詳細はp.03



MURORANSHI KOUSETSU CHIHOU OROSHIURI SHIJOU

室蘭市公設地方卸売市場

港を囲むように重化学工場群が建ち並ぶ、「ものづくりのまち」北海道室蘭市。長い間、室蘭市周辺の水産物卸売の要所として親しまれてきた室蘭市公設地方卸売市場が2022年8月に新たな土地へと移り、衛生面に優れた施設に生まれ変わりました。





市場出入口 *市場内には、この洗浄室で靴の裏を消毒してから入るルールになっています。



卸売場 *スムーズな動線により商品の鮮度を確保し、自然採光、自然通風により、明るく清潔な売場空間となっています。



附属棟 *市場関連事業者等が入居しています。今後は卸売市場に関連するテナントを誘致し、飲食店や水産物を販売する店舗を展開していきたいと考えています。



荷受室 *衛生面と荷降ろしの効率性を考慮し、80cmの段差を設けています。



仲卸売場 *卸売業者から仕入れた商品を小売業者などに小分けして販売する、仲卸業者の売場です。2階には事務所を設けています。



冷凍冷蔵庫棟 *商品を保管することができるよう、市場に隣接し、-25℃まで設定できる冷凍機能を備えた冷凍冷蔵庫を配置しています。



食堂 *旧市場にはなかった卸売業者職員の食事スペース。更衣室が併設されており、よく女性職員が利用しています。



市民とのふれあいを目的に、追直漁港にて開催している「さかなの港町同窓会」。大きなプールの中にサケを放ってつかまえる「サケのつかみ取り」など、さまざまなイベントが行われます。

地域の食卓を支える水産物の取引所

室蘭市公設地方卸売市場は、室蘭市が属する西胆振地方とその周辺地域への安定した生鮮食料品の供給と取引の公正化を目的として、昭和43年に設立されました。太平洋と内浦湾に面した室蘭近海からあがるサケ、ホタテ、スケトウダラなどの豊富な水産物を取り扱い、地域に届けています。設立から半世紀の間、数回の修繕や改修工事が行われましたが、建物そのものの老朽化に伴う耐震強度不足により移転による建て直しが決定。令和2年11月から2年弱の工期を経て、令和4年8月20日、現在の室蘭市東町にて供用を開始しました。旧市場の跡地には、大型ショッピングモールがオープンする予定になっています。

新市場の特徴は、見学者を意識した構造です。2階にある見学者ホールには100名ほど収容可能。1階の市場全体を見渡せるよう、ホールと通路には大きな窓を設置しています。実際にせり場内に入らずに見学ができるため、小中学校や地域団体などの大人数の見学もスムーズに行えています。

室蘭市公設地方卸売市場 概要 所在地:北海道室蘭市東町3-1-12/竣工:令和4年8月/敷地面積:31,016.59 m²/構造:2階建、鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)

設備の整った、地域に愛される食の要所

移転を経て室蘭市東町にオープンした室蘭市公設地方卸売市場。
室蘭市 経済部農水産課で、移転業務を担当していた赤石壮史さんに
これまでの経緯や今後の展望などを伺いました。



室蘭市 経済部 農水産課
赤石 壮史 課長

▶▶ 使いやすさはそのままに、衛生面に配慮

今年8月に開場した室蘭市東町の公設地方卸売市場。50年以上にわたり室蘭市周辺の食を支えてきた旧公設卸売市場から、バトンタッチを果たしました。

旧市場から改善した点は、生鮮食料品を扱う市場ならではの衛生面です。今までは利便性を優先し、外と中をはっきり分けないうつくりになっていましたが、新市場では洗浄室を通り、消毒を行ってからでないと、せり場内に入れないようになっています。また、屋根には自然光が入り、空気を入れ替わりやすい橋状のトラス構造を採用しました。

逆に、旧市場から変えないように留意した点は、それぞれの設備の配置です。市場に隣接した冷凍冷蔵庫棟や、仲卸売場の2階にある事務所スペースなどは、旧市場から踏襲しています。衛生面と利便性を両立した設計は関係者からも好評です。

▶▶ まわりを巻き込み、市場から室蘭市の魅力を発信

近年室蘭市では、他の地方都市と同様に人口の流出が大きな課題となっています。その中で進めているのが、減っていく人口に合わせて街を縮小し、利便性を高めていくコンパクトシティ化。老朽化した公共施設の建て直しと同時に、施設の統廃合などを行っています。その際、資金調達の第一の検討先となるのがJFM。今回の公設地方卸売市場だけでなく、市内の体育館を建て直すときにもJFMの融資を活用しました。金利面で有利な上、対応がとても丁寧で信頼性も高かったことが理由です。

新市場に移転してから約3ヶ月、新型コロナウイルス感染症の影響でまだ大規模なイベントは行えていません。今後は市場関係者とも相談の上、市民や観光客の皆さまも参加できるイベントを行っていきたく考えています。また、市場の近くには観光資源も豊富なため、海の幸を味わえる場所を増やし、公設卸売市場から室蘭市の魅力を発信していきたいと思っています。



* 室蘭市公設地方卸売市場の見学者数

旧市場の1年間の見学者数は約30件。新市場がオープンしてからはすでにそれ以上の見学のお申し込みをいただいています。旧市場を知っている方からは、明るく綺麗になったと好評です。

本件で活用いただいた制度

市場事業

地方公共団体が経営する中央卸売市場及び地方卸売市場の建設改良費等を対象とした事業です。令和2年度において地方公共団体が経営する市場事業は151事業あり、野菜、果実、水産物、肉類等の生活物資の流通の近代化に貢献しています。

JFMスタッフ Message

室蘭市公設地方卸売市場移転にあたりご活用いただいた市場事業につきましては、令和3年度は、JFMから全国の地方公共団体に対し、総額150億円の貸付けを行いました。JFMでは、電子申請・通知システムによる借入申込事務のオンライン化により、効率化に取り組んでいます。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各都道府県域担当までご相談ください。よろしくお願いいたします。



融資部融資課 北海道担当
井藤 佑哉

北海道室蘭市のまちづくり



室蘭市の未来を創るため 次世代教育を行っています。

2022年、開港150年、市制施行100年を迎える室蘭市。節目として記念式典をはじめ、花火大会や工場夜景サミットなどの記念行事を催しており、市内外の方々にお楽しみいただいています。また、室蘭市の未来へつなげるというコンセプトのもと、子どもたちに向けたイベントも多く行ってきました。プログラミングやドローンの操縦などが体験できる「デジタル教育体験事業」や、中学生が市議会議員役となって質問をし、市の職員が答弁をする「子ども議会」など、これからの室蘭市を担う世代の教育にも力を入れています。

行政 Pick Up !

サプライチェーンを構築する実証事業

カーボンニュートラル社会の実現に向けて国が主導する、水素サプライチェーン構築のための実証事業に参画しています。今年11月開催の水素フォーラムでは、水素関連産業を市の重要産業とするべく、さまざまな課題の解決に向けて議論を行いました。



庁舎探訪

室蘭市役所の庁舎を訪問しました。職員の皆さまの業務の様子などをレポートします。



築70年を超える室蘭市の本庁舎。市民の利用機会の多い課は、近くの「広域センタービル」に移設しています。



「広域センタービル」には市民が多く集まり、交流の場に。新市場の事務所では、市役所職員と市場関係者の打ち合わせなどが行われています。



室蘭市 経済部 農水産課と市場関係者の皆さん



三方を海に囲まれている室蘭市。南に突き出した絵鞆半島の内側にある室蘭港は、天然の良港です。港や工場群、自然がおりなす「むろらん夜景」、ほぼ360度を見渡せる「地球岬」など、立地を生かした絶景スポットが数多くあります。



[人口]

78,420人



[世帯数]

44,257世帯



[面積]

81.01 km²

(令和4年11月末現在)



工場地帯を見下ろす「むろらん夜景」



鶏ではなく豚を使った「室蘭やきとり」



断崖絶壁から太平洋を一望「地球岬」



東日本最大の吊り橋「白鳥大橋」